



# 夏目漱石の未知の素顔

～クラシック音楽は心の遊び場～

音楽学者・音楽プロデューサー 瀧井 敬子様

## 卓話者紹介

### 高山 肇委員長

札幌でお生まれになり、東京藝術大学楽理科卒業、同大学院を修了されました。明治の文豪の洋楽受容に関する音楽学研究のスペシャリストです。今年夏目漱石生誕150年にあたり、本日は漱石が学んだ錦華小学校、現在の千代田区立お茶の水小学校の校長先生、副校長先生にもお出でいただいております。地元の小学校との関わりもお話頂けると幸いです。

まずは、この映像を御覧下さい。お茶の水小学校の校庭に接して、道路側に建てられている石碑です。錦華小学校は、明治の文豪にして近代日本の最高の知識人の一人、夏目漱石が学んだ学校でした。現在のお茶の水小学校です。石碑には、次のように彫られています。

「吾輩は猫である。名前はまだない」  
「明治十一年 夏目漱石 錦華に学ぶ」

この石碑のことは、お茶の水ロータリークラブの高山肇様に教えていただきました。また、神田ロータリークラブの堀田康彦様には、暑い中、現地まで案内していただきました。この映像は、神田学会の久保金司様からデータを頂戴したものです。

さて、夏目漱石はイギリス留学から帰国後、寺田寅彦に誘われて、何度か、洋楽のコンサートに出かけています。コンサートというのは、マナーを知らないかと敷居の高いものです。そこで指南役をつとめたのが、当時、東京帝国大学理科大学の学生だった寺田寅彦でした。漱石にとって彼は、熊本第五高等学校時代に英語と趣味の俳句を教えた弟子です。寅彦は第五校の最後の学年のとき、物理の先生からヴァイオリンを見せられて虜となり、小遣いを貯めて購入、独習します。大学に入って上京後は、コンサートにも何度も出かけていました。洋楽フリークでした。

その寺田寅彦が明治42年1月、助教授となって、二ヶ月後にヨーロッパ留学を命じられ、日本を留守にすることになりました。

留守中の明治42年6月末、漱石家は子供の教育のためにピアノを買います。「三四郎」初版の二千部の印税、四〇〇円で買った、と日記には記されています。放任主義だった漱石も、楽器だけは特別に習わせてであると、雑誌の談話で語っていて、実際、前年の暮から長女の筆子を音楽教習所に入れていました。中島六郎という人が経営する音楽塾でした。

ここで、中島六郎について、経歴を少しお話ししましょう。彼は21歳で、ロシア正教会の聖歌指導者を養成する寄宿学校に入ります。不幸な境遇にあって、行きどころのなかった彼を、宣教師ニコライが哀れに思って救ったのです。ニコライは中島六郎を東京音楽学校の選科にも行かせます。明治36年に選科卒業。その卒業証書を博として、中島は聖歌隊の指揮者としての仕事の傍ら、音楽教習所を開きました。そこに筆子が入ったのです。

漱石は娘たちのピアノの先生となった中島六郎に礼を尽くし、『東京朝日新聞』の音楽批評家にまで登用します。こうして、彼と交流するようになったことで、漱石の音楽の知識やコンサート体験は自然に豊かなものとなりました。その結果、寺田寅彦が2年半後に日本に帰国したときには、すっかり漱石の方が洋楽界の事情通になっていました。

明治45年6月9日の上野の奏楽堂で開催された東京音楽学校主催の第26回定期演奏会は、帰国後の寅彦を誘って再び一緒に行ったコンサートです。寅彦の父親まで誘っています。漱石の日記には、「管弦楽も合唱も面白し、ハイカラの会なり」という感想が記されています。

明治が終わり、大正が始まった1912年の夏目漱石は、プログラムや演奏者の良し悪しが曲がりなりにもわかるようになっていたのです。「行人」の連載準備で時間に追われるなかにあっても、その後もコンサートには出かけています。クラシック音楽は、大切な心の遊び場になっていたといえましょう。

今年、漱石生誕150年にあたります。そこで、明治45年6月9日に漱石が聴いたコンサートを東京文化会館大ホールで再現します。コンサートのタイトルは、「漱石が上野で聴いたハイカラの音楽会」です。10月15日午後2時開演。2017年の今、世界を舞台に活躍している実力派が演奏します。会場のロビーには、往時に使用された楽譜類や手締めのティンパニなど、貴重資料を展示します。

ところで、「松山の漱石」「熊本の漱石」は、知れ渡っています。しかし、若き日に漱石が岡山で洪水に遭って、1ヶ月以上も滞在したことは、御存じない方も多いでしょう。記念年ということで、ロビーには「岡山の漱石」に関する資料も展示します。



(左 お茶の水小学校校長 浅川 宏様)

## 閉会点鐘

牛島 聡会長

## 出席報告

木宮 雅徳会員

会員数	35名	ゲスト	8名
出席数	22名	ビジター	0名
欠席数	13名	7月26日修正	68.97%

## 卓話予定

- 8/30 「会員卓話」 傳 健興会員・石渡 伸幸会員
- 9/6 「未定」
- 9/13 「天理図書館・正倉院展の紹介」 八木壮一会員
- 9/20 休会
- 9/27 28日(木)に振替
- 9/28 (木) 東京神田RCとの合同例会  
「野球にかける想い」  
元プロ野球選手 石毛 宏典様

創立/1993年10月13日(平成5年)  
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2  
グランドマン九段906号  
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400  
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp  
<http://tokyo-orc.jp/>

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111  
会長 牛島 聡 幹事 青木 隆幸  
会報 山下 秀一(委員長) 山田 丈夫(副委員長)  
土居岩生 木宮雅徳 小林大介 永井一史(委員)